



錢形平次捕物控
人 肌 蜘蛛



大映カラー
彩色映写

内田 五子 監

●大映・スチール・モノクロ・カラー

山根貞男のお楽しみセミナー



長谷川一夫が銭形平次に扮する人気シリーズは一九四九年から始まったが、「銭形平次捕物控・人肌蜘蛛」はそのちよようど十本目で、初のカラー作品である。

……日本一の長谷川の平次が、世界一の大映カラーで総天然色映画になって、興味が百倍！
これはこの映画の趣向で、当然ながら初のカラーということ強調している。また、画面を見れば、ドラマ上でもカラーに合わせて工夫がなされており、銭形平次は浮世絵に描かれた色とりどりの十二支を手がかりに事件の謎を解いてゆく。

それにしても、長谷川一夫の銭形平次が日本一であるのはだれしも認めようが、あとのほうの「世界一の大映カラー」とは何のことであろうか。明らかにこれは、大映のイーストマンカラー第一作「地獄門」（一九五三）が一九五四年にカンヌ国際映画祭でアカデミー色彩賞を受賞したことに基づいている。じつさいこの当時、大映のカラー撮影技術は他社を引き離していたのである。

この「人肌蜘蛛」の見どころは、カラーであることのほか、もう一つ、長谷川一夫と市川雷蔵が共演していることであろう。二人は当時、時代劇スター

として、追いつ追われつの関係にあって、この四本目の共演作品でも、いい勝負を見せてくれる。

この映画は、また、森一生監督と市川雷蔵の出会いの作品で、このあと二人はコンビを組むことが多くなる。なにしろ市川雷蔵の全出演作品百五十三本のうち三十本を森一生が撮った。

森一生の撮り方の特徴は、キヤメラを引いたロングショットが多く、アップがきわめて少ないところにあり、そこから獨特の美感が生まれる。これでは天下の美男スター・長谷川一夫などには、アップの少なさに不満をもらしたのではないかと思われるが、そうでもない。アップは、あくまで平次のカッコ良さはきちんと撮っている。



◎本商品は保存状態から最良の状態で作成しておりますが、映画公開時より長い年月を経たことにより、一部作品にはお見苦しい場面もございます。あしからずご了承ください。

■キャスト

銭形平次 長谷川一夫
新次郎 市川雷蔵
八五郎 藤田進二
運送船頭 東野英治郎
新助三郎 黒川弥太郎
お品 山本富士子
お吉 矢島ひろ子
お福 近藤美穂子
お新 阿井美千子
女中お千代 中村玉緒
怪僧おれん 入江たか子
三輪の万七 見明凡太郎
上野屋長吉 沢村国太郎
伊之吉 南寿新太郎
伊勢屋久助 東 良之助
お和葉清吉 上田 勇
菊 滝 水原真一
薬屋お徳 大和 公
松五郎 岸上五郎
小田十郎 黒田四郎

■スタッフ

製作 ● 永田雅一
企画 ● 浅井昭三郎
原簿 ● 野村胡堂
脚本 ● 小園英雄
監督 ● 森一生
撮影 ● 杉山公平
録音 ● 大谷 肇
美術 ● 伊藤尚一
音楽 ● 西田壽吉
音楽 ● 酒巻一郎
衣裳考証 ● 衣笠孝直
上野芳生
製作主任 ● 藤原五郎
安達伸雄
助監督 ● 池田一夫
編集 ● 宮田味津三

TNO6464

昭和31年製作品

02分・カラー